

芸術鑑賞会



画像は加工して掲載しています

昨年は中止した芸術鑑賞会ですが、今年は何とか分散型で実施することができました。

「笑う門には福来たる」、笑うことは元気の源です。

「あさて あさて あさては南京玉すだれ！」とみんなの手拍子にあわせて、玉すだれが瀬田の唐橋になったり、万国旗になったり、最後はしだれ柳になったり……。リズムよく歌い舞いながら、あれよあれよという間に玉すだれがいろんなものに早変わりします。子どもたちが「あ〜。」とうなづきながら手拍子することで、この空間がさらにあったかいものになっていくような感じがしました。演者と観客が一体となれるというのが、リアル（実際の芸を目の前にすること）のよさなんでしょうね。



画像は加工して掲載しています

扇子と手ぬぐいに巧みな話芸を加えることで、落語はどんな世界も創り出すことができます。むしろ、聞く側が想像力をふくらませることで、よりいっそうおもしろさの世界は広がります。手ぬぐいを焼き芋に見立てたり、扇子をはしに見立ててうどんをすすったり……。体験もさせていただきました。

最近あまりテレビでも見るのが少なくなってきた落語の世界に子どもたちはひきこまれていました。新沢っ子の純粋な反応がとってもかわいく思えました。



画像は加工して掲載しています

